

**わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
びわ湖トライアスロン in 近江八幡 特別大会 競技規則・ローカルルール**

1. 【基本事項】

- (1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ びわ湖トライアスロン in 近江八幡特別大会(以下「本大会」という)は、このローカルルールに従って競技を実施する。
- (2) 競技に関し、ローカルルールにない事項については、(公社)日本トライアスロン連合競技規則(以下「JTU競技規則」という)及びワールドトライアスロン競技規則(以下「TRI競技規則」という)に従い実施する。
- (3) 本大会は交通規制されたコースにおいて競技を実施するが、道路交通法等の国内法規を遵守して競技を行うこと。
- (4) 競技内容について変更がある場合は、公式掲示板(アスリートラウンジ内)に掲示されたものが正式決定となるのでこれに従うこと。
- (5) 公式記録及びペナルティについては、公式掲示板(アスリートラウンジ内)に掲示されたものが正式決定となる。これらに不服がある場合はJTU競技規則の規定に従って抗議を行うことができる。
- (6) 全競技を通じて緊急車両の通行並びに要救助者の搬送を優先する。
それにより選手が競技を一時中断した場合でも、その時間は競技時間に加算される。

2. 【競技説明会出席の義務】

9月7日(土)15時00分～16時00分 休暇村近江八幡にて行う開会式・競技説明会は、選手本人は必ず出席すること(参加義務)。遅刻、欠席の場合は大会事務局へ明確な理由を連絡することとし、連絡の無い遅刻、欠席の場合は原則競技出場を認めない。
監督、コーチについては、出席することが望ましい。

3. 【レースナンバー】

- (1) レースナンバーは、男女別に大会要項の出場基準に従い割り振られる。
- (2) レースナンバーシールは、ヘルメット(正面と左右両サイド)とバイクのシートポストに貼付する。
- (3) レースナンバーシールの加工は禁止する。
- (4) ボディナンバーシールは両上腕部外側(側面確認用)、両大腿部もしくは下腿部前面部(前面確認用)の4カ所に貼付する。

4. 【レースウェア(ユニフォーム)】

本大会においては、JTU競技規則第39条から第41条記載を元に、『2023 World Triathlon Competition Rules』を適用して実施する。なお、これらのJTU競技規則に加え、下記(6)＜ユニフォームに関するローカルルールについて＞も適用する。

＜JTU競技規則第41条 TRI大会におけるユニフォーム(要点拨粋)＞

- (1) 選手は競技や表彰式を通してユニフォーム着用をしなければならない。長袖や長ズボンは表彰

式で許可される。

- (2) ユニフォームは胴体全面をカバーしなければならない。背中、ウェストより上はカバーしなければならない。
- (3) ワンピースのユニフォームを推奨する。もし、ツーピースのユニフォームを使用する場合は、お互い重ならなければならない、全競技中胴体が見えてはならない。
- (4) ジッパーがある場合は背中部分にあるものを推奨し、そのジッパーの長さは 40cm 以内にする。
- (5) ただし、ジッパーが前にある場合は、閉じて出場することを許可する。
- (6) <ユニフォームに関するローカルルールについて>

エイジグループレースを主戦場に行っている選手については、審判長が承認すれば、半袖ウェア、肘を覆わない袖のあるユニフォームを使用できる。また、所属企業名、所属学校名、所属クラブ名、スポンサー名、名前などの記載に関しての制限を適用しない。但し、前日のウェアチェックにおいて指導は行う。

5. 【競技備品、レースウェア、ウェットスーツ、バイク、ヘルメットへのロゴ表記】

- (1) 製造者名 (*) またはブランド名 (*) のロゴのみ表記できる。ただしその範囲は以下とする。
 - a) レースウェア：上半身 1 ヶ所、下半身 1 ヶ所以内とし、その面積はそれぞれ 15 cm²、高さ 3cm 以下とする。
 - b) ウェットスーツ：正面及び背面に表記できるものとしそれぞれ面積 80 cm²以内とする。
上記の場所以外（腕、脚部分等）は認められない。
 - c) バイク：フレーム、ホイール、ペダル、ハンドルなど製造者の表記は認められる。但し、事前検査で認められない場合もある。これら以外の表示がある場合はテープなどで隠すこと。
 - d) ヘルメット：前面 1 ヶ所に面積 30 cm²以内、もしくは両サイドに 20 cm²以内とする。
 - e) ランニングキャップ：20 cm²以内、高さ 4cm 以内とする。
- (*) 製造者ロゴ自体がデザインとなっている場合も上記範囲を超えたものは使用できない。
特にレースウェアにおいて製造者ロゴがサイドに複数表記されているものや両太もも前面に大きく表記されているものは使用できない。
- (2) レースウェアへの名前（姓）の表記を許可する。ただし、その表記方法並びに範囲等は以下とする。
 - a) 場所：前面もしくは背面臀部のいずれか一方。
 - b) ファーストネームをイニシャルの前に加えてもよい。同姓の選手は、ファーストネームのイニシャルを付けることを推奨する。
 - c) 字体：ローマ字
 - d) 大きさ：縦 5cm×横 12～15cm
- (3) 9 月 7 日（土）13 時 00 分～14 時 45 分 休暇村近江八幡に設置された受付テント付近にて行われる選手受付の際に、レースウェア、ヘルメット等競技用具の確認、バイク車検を受けること。（公式メカニックは運営側で用意する。）
- (4) 主催者が指定したボディナンバーシールを指定箇所に貼付する。大会当日、これ以外のものをボディに貼付、又は書き込むことを禁止する。
- (5) スイムキャップは、支給されたものを着用すること。

6. 【記録計測について】

- (1) ICタグ内蔵のアンクルバンドを装着して(左右いずれかの足首に装着)競技すること。各計測地点でこれを用いて計測・記録する。フィニッシュの着順判定は、選手の胴体の一部(頭、首、肩、腕、足は含まれない)がフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- (2) アンクルバンドは、決められた時間内に受取り、フィニッシュ後は選手が自ら外して回収箱に入れること。
- (3) 途中棄権した選手は近くの審判員にアンクルバンドを返却し、身に付けたまま計測地点へ近づかないよう注意すること。

7. 【制限時間について】

男子2時間40分、女子3時間00分、但し、交通規制の関係で、男子はスタート後2時間経過の10時00分、女子は同じく13時00分でバイク競技を終了させる。

8. 【トランジション】

- (1) 競技に関係ない持ち物の持ち込みは禁止する。
- (2) バイクラックの位置は、トランジション出口に向かって左側を奇数、右側を偶数とし、出口側からレースナンバー昇順に配置する。
- (3) スイムで使用後のゴーグル・キャップ・ウェットスーツは、指定のボックスに入れること。バイクで使用後のヘルメットもボックスに入れること。ランシューズ、ランニングキャップ等、次の競技のための用具は指定のボックスに入れておかなくてもよい。
- (4) トランジションのボックスからの用具逸脱などの違反、ストラップ着脱違反、乗降車ライン違反については、ペナルティボックスで15秒の競技停止を科す。
- (5) トランジションから直ぐに乗車した選手及び降車時トランジション内まで自転車に乗った選手は失格となる。
- (6) 乗車方法は、乗車ラインを越えた地面に片足が付いた後に乗車すること。降車方法は、降車ラインの手前で片足が地面についていなければならない。

9. 【スタートポジションの決定及びスイムスタート方法】

- (1) スタートポジションは、前日の競技説明会後に実施されるスタートポジションドロー(ポンツーンドロー)により、男女毎(別)にスタートグリッドを選択する。
- (2) 各選手はスタートセレモニーの後、レースナンバー順にコールされる。
- (3) 前日に決定したスタートポジション(1から60の数字で表される枠)に進み、番号枠の手前(待機ライン)で待つ。
- (4) 選手全員が待機ライン(プリスタートライン)に整列した時点で“オン・ユア・マークス”コールの後、番号枠内に入りスタートライン(ラインを踏むことなく)手前に進む。スタートTOによるエアホーンのスタート合図でスタートする。

10. 【スイム】

- (1) コースは、周回とし、1周目は750mのコースを時計回りに1周回する。1周回終了後、浜に

上らずブイを回り、再度 750m のコースを時計回りに泳いで、スイムフィニッシュする。

- (2) ウェットスーツの着用基準は J T U 競技規則第 73 条 「エリート、U23、ジュニアとユース」を適用する。ウェットスーツの着用可否は当日の天候にも配慮し、メディカル代表と審議委員の合議の上決定し、大会当日の各競技実施 1 時間前に公式掲示板(アスリートラウンジ内)において発表する。ウェットスーツは必ず持参すること。
- (3) ウェットスーツの着用が禁止される場合は、『4. 【レースウェア】』に規定するユニフォームを着用して競技を行なわなければならない。
- (4) 前項に掲げるユニフォームの他にウェア(セカンドウェア)を着用する場合は、前項に掲げるユニフォームの下に着用するものとし、かつ、競技終了まで脱いではならない。
＜ J T U 競技規則第 66 条＞
- (5) 不正スタートなど、スイムの違反については、ペナルティボックスで 15 秒の競技停止を科す。

1 1. 【バイク】

- (1) 湖周道路の特別コース、1 周 5.2 km のコースを 7 周回する。各自の責任で周回数をチェックすること。数え間違えのないようサイクルコンピューターの装着を推奨する。
- (2) ドラフティング許可レースとする。
- (3) バイクの構造は J T U / T R I 競技規則に従うこと。＜ J T U 競技規則第 90 条＞
- (4) ホイールステーション (WS) はバイクコース折り返し 2 か所に設置する。

WS 1 : 個人・チームホイールのみ預かり。(メイン会場内で預り北側折り返しに設置)
個人・チームのホイールを設置希望する選手は各自で用意をし、レースナンバー、選手名、チーム名を明記し預託受付時間内にメイン会場内へ直接持参し預託すること。預託したホイールは男女全競技終了後、メイン会場内にて返却する。

WS 2 : ニュートラル

WS 2 で貸し出したホイールについては男女全競技終了後、メイン会場内にて個人ホイールと引き換えで返却すること。

WS2 ホイールリスト

- ・シマノ 700 C フロントホイール×2
 - ・シマノ 700 C 11 速リアホイール×2
 - ・シマノ 700 C 10 速リアホイール×1
 - ・シマノ 700 C 11 速ディスクホイール 140mm×前後 1 セット
 - ・シマノ 700 C 11 速ディスクホイール 160mm×前後 1 セット
 - ・シマノ 700 C 12 速ディスクホイール 140mm×前後 1 セット
- (5) ヘルメット(エアヘルメット) ロングテールの使用は禁止する。
 - (6) 周回数表示は、先頭選手に対して残りの周回数を表示する。最終ラップで鐘を鳴らす。
 - (7) バイク周回遅れの選手(L A P) は、先行周回の選手に影響がないように注意しながら競技を継続できるが、追い越した選手へのドラフティングを禁止する。違反した場合はペナルティを科す。
 - (8) バイクスタート後 1.8 km 地点で周回コースに入る際は、先行の周回コース走行選手を優先とし、遅れて周回に入る選手に対しては、T O が安全確保のために一時停止させることがある。

- (9) 7周回を終えて周回離脱の際は、キープレフト走行で左折の際は安全なスピードまで減速のこと。
- (10) バイクにおける違反については、ペナルティボックスで15秒の競技停止を科す。
- (11) クリップオン (DH バー) は2023年1月より禁止

12. 【ラン】

- (1) 1周2.5kmのコースを4周回(往復)する。
- (2) キープレフト(左側走行)を基本とする。
- (3) 周回コースからフィニッシュへの分岐点では、選手個々に対しての誘導は行わない。各自で周回数を数え、間違えないよう注意すること。
- (4) フィニッシュでは、サングラス及び帽子をとって通過することを推奨する。
- (5) 周回表示は、先頭選手に対して残りの周回数を表示すると共に最終回で鐘を鳴らす。

13. 【エイドステーション】

- (1) エイドステーションは、ランコースに2ヵ所とリカバリーラウンジの計3ヵ所に設置する。
- (2) 大会スタッフから直接受け取る方式を採用するので、手を上げるか口頭で、受け取ることを合図し、減速して安全かつ確実に受け取ること。
- (3) ペットボトル等は回収箱もしくはリタリングゾーン(エイド手前20m、エイド後100m)に捨てること。

14. 【ペナルティ】

- (1) ペナルティボックスは、メイン会場内ランコースに設ける。
- (2) 違反を行った選手のレースナンバー(黒字)と違反コード(赤字)がペナルティボックス入口に掲示される。ラン競技中に選手自ら確認して入ること。違反コードは、下記(4)の通り。
- (3) ペナルティボックス内では審判員の指示に従い、ボックス内で競技を停止、15秒経過後「ゴー」の合図で競技を再開する。尚、気象環境などの影響で競技距離が変更された場合は、ペナルティ時間が変更となる場合がある。
- (4) 違反コード

M=乗車ライン違反

E=用具の格納違反

L=ゴミ捨て違反

D=降車ライン違反

B=バイク中の行為

V=その他の違反

S=スイムスタート

R=ラン中の行為

15. 【フィニッシュ】

- (1) フィニッシュにおける意図的又は不自然な同着を禁止する。 < J T U 競技規則第119条 >
- (2) 複数の選手がほぼ同時にフィニッシュした場合は、フィニッシュ TO が着順判定を行う。
- (3) フィニッシュの着順判定は、選手の胴体の一部(頭、首、肩、腕、足は含まれない)がフィニッシュライン上に達した瞬間とする。
- (4) フィニッシュテープはトップ選手のみとし、後続選手には使わない。

16. 【周回ボード】

- (1) バイクは湖周道路周回コースに入った所で、残り周回数(7~1)を掲示する。
- (2) ランはトランジションエリアを出て周回に入った所で、残り周回数(4~1)を掲示する。

17. 【悪天候時の対応】

気象状況など競技環境に応じて、競技種目の変更、距離の短縮・周回数変更を行う。

- A. 51.5Km スタンダードディスタンス競技を実施できないと考えられる気象条件や、午後から天候が急激に悪化予想(台風接近)の場合。

代替案：スイム 750m、バイク 20 km、ラン 5 kmのスプリントディスタンス競技に変更。

- B. スイム競技が不可能と考えられる、高波、雷、台風や大雨後に流木、ヨシ、ゴミなどが漂着または浮遊が確認された場合。

代替案：第一ラン 5 km、バイク 40 km、第二ラン 10 kmのデュアスロン競技に変更。

- C. バイク競技が不可能と考えられる、例えばコースが土砂崩れの場合。

代替案：スイム 1.5Km、ラン 10Km のアクアスロン競技に変更。

- D. ラン競技が不可能と考えられる、例えばコースが土砂崩れ、倒木などで使用できない場合。

代替案：スイム 1.5 km・バイク 40 km、トランジション出口からフィニッシュラインまでの100m 程度のランに変更。

- E. ラン競技は実施可能でも、スイム・バイクともに実施不可能な場合は、競技を中止とする。

18. 【その他】

- (1) 応援活動は、J T U競技規則第 24 条の規定に従って行うこと。応援用の旗・のぼり・ボード等は禁止する。また、鳴り物等は、スタート合図、放送等競技運営の邪魔にならない範囲で使用する。
- (2) 監督、コーチに対し、監督ADを発行する。アスリートエリア(アスリートラウンジ含む)の入場にのみ有効とし、トランジションエリア、フィニッシュエリアには入ることはできない。
- (3) 監督・コーチADの発行については、事前申請制(8 月 31 日申込締切で当日申込不可、指導者資格の保有条件有り)とする。別途出場選手に送付する「監督・コーチADの発行について」を参照の事。
- (4) ドーピングを行ってはならない。
- (5) コースの変更等が発生した場合には、J T U並びに『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポトライアスロン競技会』公式サイトにて随時案内する。

以 上